



糸原 壽之 議員

質問

観光のさらなる展開は

町長

見て・体験し・食するを重点に



鉄道ファンで賑わう木次線普通列車



横田駅前を出発する奥出雲交通



スイッチバックへ向かうトロッコ列車

3つの交通を連絡させて町内の観光路線の開発を

質問 秋の行楽シーズンにおける本町の状況について。入込客数と経済効果は。

町長 町が実施している月単位の観光動態調査で、10、11月の入込客数は、鬼の舌震、船通山、たたら関連の施設や温泉

施設で10万5,000人で、対前年比で120%であった。経済効果については算出資料は無く、

町長 町が実施している月単位の観光動態調査で、10、11月の入込客数は、鬼の舌震、船通山、たたら関連の施設や温泉

らゆる分野で波及効果があつたものと考えている。

高工観光課長 玉峰 山荘は9,800人、斐乃上荘と民宿たなべで3,700人、

質問 それぞれの施設利用者数は。

佐白温泉は4,800人と、例年の1割から2割増であつた。同期間のその他の施設では、道の駅おろちループ1万6,000人、坂根駅延命水1万6,000人、鬼の舌震1万5,000人、道の駅酒蔵交流館1万4,000人、その他博物館4館で8,000人という状況であつた。

質問 今後への展開は。

町長 観光客誘致については、見るだけの観光ではなく、見て・体験し・食するということを重点課題として、より一層取り組んでいく。

接に接続連絡した町内観光ダイヤの編成について、関係者またはタウンミーティングなどで検討されたい。

町長 接続など既存の体系を工夫すれば、利便性の向上や木次線の利用拡大及び活用につながり、ひいては町内観光に生かせるものと考えられる。検討の余地はある。

まずは関係者の意見を聞き、JRに要望できることがあれば対応したい。また、タウンミーティングにおいても、バスなどと連携した普通列車の利用や奥出雲バルなど地域活性化に資することについて、今後話題にしていく。

質問 トロッコ列車・普通列車・奥出雲交通定期路線が、密